

## ☆令和5年度 高等部卒業生講話・進路学習会☆

秋冷の候、保護者のみなさまにおかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、高等部では後期就業体験に先立ち9月14日(木)に卒業生講話、9月22日(金)には面接の仕方についてハローワークより講師を招いて進路学習会がありました。

卒業生講話では令和4年度卒業の3名が講師として来校し、卒業後の生活や働く心構えについてお話頂き、在校生からは「給料はいくらですか?」「働く上で大切なことはなんですか?」等の質問が多く寄せられ、講師も回答に困る場面がありました。また、進路学習会では今後の就職活動や後期就業体験に向けて取り組むことになる面接についてのポイントや心構えについて講師より説明がありました。学習後は高等部3年生の生徒を中心に面接官と面接者に分かれ、ローテーションで模擬面接を行っています。初めは緊張で答えに困る場面が多く見られましたが、回数を重ねる毎に受け答えも上手になっていました。



卒業生講話



## 進路学習会

模擬面接の様子

※今回の模擬面接を通して、正しい姿勢をすることが課題として挙げられていました。猫背になったり、背もたれに持たれたり正しい姿勢を維持することが難しい様子が見受けられ、普通の授業や生活の中で正しい姿勢を意識することが大切だと感じました。

## ☆令和5年度 中学部職場見学☆

中学部1年職場見学では、近隣地域の協力のもと、セルフサポートセンターぴゅあ(本館、ぴゅあ食堂、食品加工所、グループホーム)へ行ってきました。

ここ数年、1学年が毎年見学に行くのが恒例になっており、将来の勤労観や自立に向けて理解を深める機会となっています。

事業所内では、学校の実習班のように様々な班があり、窯業や農業、食品を扱う部署など、生徒達は目を輝かせて見学をしていました。「1日に何食作るのですか?」と質問し、300から400食という回答があり、驚きながらも興味津々の表情でした。また、グループホームの見学では、「何人で1つの部屋に住みますか?」、「自分で生活するんですか?」等、将来の自立に向けた発言もありました。今回見学したグループホームでは、平日は寝泊まりし、週末は帰省できるという情報も知ることができました。卒業後、どうやって生活していくのか、学校や家庭、地域生活を通して、将来の進路について考えるきっかけづくりとなりました。



## ☆就業支援キャンペーン☆

毎年 9 月は障害者雇用月間となっています。それに伴い障害児(者)への理解・啓発を高め、雇用等の拡大を図ることを目的に就業支援キャンペーンが今年も行われました。そのキャンペーンに本校を代表して、高等部 3 年の島尻桃香さんが企業訪問し挨拶を行っています。今回訪問した企業は、高等部の就業体験でも実習受け入れ等でお世話になっている「有限会社在宅介護サービスひまわり」さんです。挨拶では就業体験で学んだことや学校の PR を行い、企業さんからは「早い段階(小・中学校)から実際に現場を見て、様々な経験をして欲しい」とのお言葉を頂きました。



## ☆高等部就業体験事前学習☆

後期の就業体験に向けて高等部全体で事前学習が行われました。生徒会による美らマナー週間の取り組み報告や挨拶訓練、校外実習先の発表、校長先生より働く心構えについてお話がありました。高等部 3 年生は最後の実習となり、その後の進路決定に向け意欲を高めています。



生徒会による美らマナー取り組み報告



挨拶訓練の様子



安全面、体調管理には十分気をつけて実習には臨んでください。

## 事業所紹介

■事業所名：サポートセンターゆい

■提供サービス

- ・就労継続支援 B 型
- ・就労移行支援(今年度 10 月スタートに向け準備中)

■住所：うるま市大田 696-10 1F

■連絡先：098-974-5779(TEL・FAX)

070-5691-1663(事業所携帯)

■活動内容(B 型)：古紙のリサイクル、EM 石けんづくり、小物制作、委託作業など



「サポートセンターゆい」では、これまでの継続支援 B 型に加え、今年度 10 月より就労移行支援のサービスも提供予定です。見学や体験などご気軽に相談下さい。